

# 携帯電話、ノートパソコン、カーナビ、ビデオカメラ… 最新デジタル機器を支える マグネシウム加工技術

シバタテクラム

くめナビ

vol.8-3

シバタテクラム(町田市成瀬、柴田文夫社長、042・710・6090)は、ノートパソコンのバックカバーや携帯電話のフレーム等のマグネシウム素材の機械仕上げ加工を行っている。同社は、1973年6月の会社設立時に行っていた金属プレス加工業を、社長自身のものづくりに対する先見性により、軽くて丈夫なマグネシウムの加工業へと転換、今日まで事業を展開している。

マグネシウム素材は、ノートパソコンや携帯電話、カーナビゲーション、ビデオカメラ等、進化の著しいデジタル機器のフレーム部分に使用されており、無くてはならないものとなっている。オートマシニングセンターや回転バレル研磨機の導入など積極的な設備投資

を実施、常に高品質な加工を行い技術力で信頼を得てきた。

高品質な製品にこだわることは、柴田社長のモットーでもあり、20年以上の経験と知識、設備からくる技術力では他社に負けないと自負している。社名のテクラムとは、ラテン語のテクナフューチャラムを略した呼称であり、技術を



同社所有のオートマシニングセンター

磨き未来に邁進したいという意味が込められていることから、その一貫した職人気質が垣間見える。会社理念は、「未来と技術、物と地球を思いやり、未来にたゆまぬ努力を惜しまず前進すること」。柴田社長はものづくりの原点について、「ものづくりの手が誇りを持つこと、そしてその感動を人から人へ伝えること、果てしなく広がる未来に向かって夢を大切につなげていくこと」と語る。ものづくりにかける思いは果てしない。



ものづくりにかける思いを熱く語る柴田社長